

レガシーシステム刷新ソリューション「マイグレーション2.0」

マイグレーション移行性検証サービス

失敗事例の多い「マイグレーション・プロジェクト」を成功に導くシステムズの豊富なノウハウ

レガシーシステム刷新・再構築成功の鍵「移行性検証」とは…

レガシーシステムの狙いどおりのマイグレーションを成功させるには、刷新対象の既存資産を「**移行性検証**」することにより既存システムの保有情報と問題点を洗い出し、「計画」・「ツール」・「作業手順」・「生産性」を確保することが重要です。



「お客様からの提供物を受領」

- ① 対象資産一式
(プログラムソース/JCL/その他移行対象資産)
- ② システム標準資料一式
(運用標準/コーディング標準/ネーミング標準等)
- ③ ドキュメント類一式
(業務フロー/運用フロー/新システム要件/テスト仕様書
サブルーン仕様書等)
- ④ ファイルレイアウト
- ⑤ 現新システム環境関連資料一式
(ユーティリティ類を含む)
- ⑥ テストデータ
(サンプルコンバージョン用)



マイグレーション対象資産の明確化

1. 移行対象資産の確定
不要・重複資産の排除

マイグレーションリスク管理

1. システム環境、移行対象資産、
プログラムソースの特徴を把握
2. 技術的課題の抽出
3. 不具合発生の予測と対策
4. 移行方針に則したサンプル変換の実施
による技術的課題、移行方針を検証
5. 調査・分析に基づき、変換およびテスト
の手戻りを防止し品質を確保

マイグレーションプロジェクト計画の策定

1. プログラム・JCLパターンの分析および
コーディング特徴の把握を行い、技術的な
確認を得た上でプロジェクト全体の移行
実施計画を確定
2. 各工程の作業項目およびお客様との
役割分担を明確化しスケジュールを立案
3. 移行内容の検証により、正確・詳細な
見積りを算出

マイグレーション移行性検証のお客様メリット

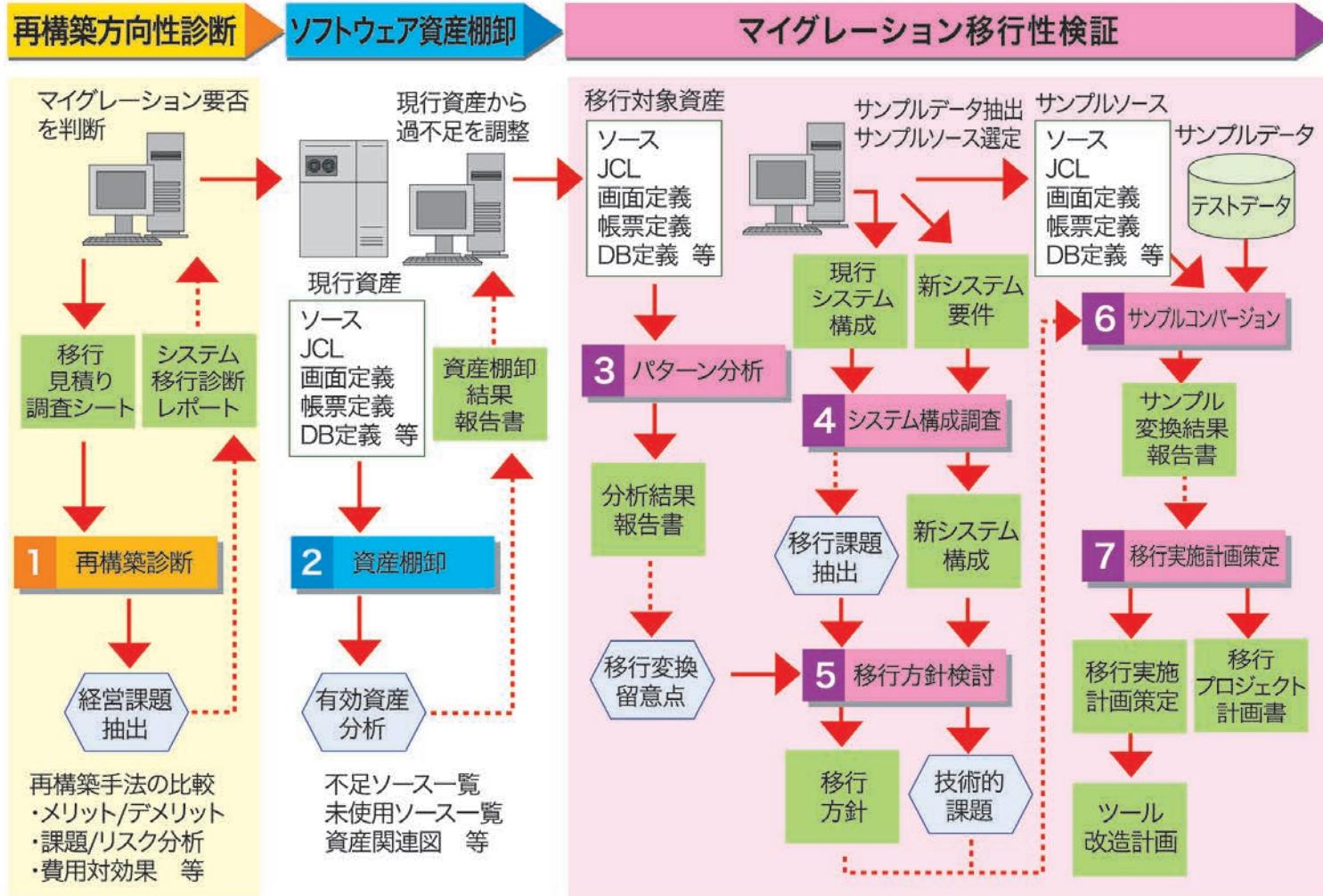


1. 不要/重複資産排除による移行コスト削減とシステム情報の現状把握
2. 移行リスクの事前把握による危機管理の備え
3. 適切な移行方式(低コスト、低リスク、品質確保等)の選択
4. 正確な移行費用内容の把握

※:このカタログに記載されている製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

マイグレーション移行性検証に至る作業の流れ

システムズが注力するマイグレーションの上流工程



マイグレーション移行性検証による成果物 例

-
1. 資産棚卸し結果報告書
 2. 分析結果報告書(パターン分析)
 3. サンプル変換結果報告書
 4. 移行性検証結果報告書
 [①システム特性②新システム構成③移行方針]
 5. 移行実施計画書
 6. 移行実施正式見積書

マイグレーション開始

(※)実施費用については、別途お問い合わせください。

[資料請求とお問い合わせ]

株式会社 **システムズ**

マイグレーション事業本部

東京都品川区西五反田7-24-5 日本生命西五反田ビル8F TEL 03-3493-0032 FAX 03-3493-2033
 URL <http://www.migration.jp/> E-mail : migration@systems-inc.co.jp

●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

●本紙に掲載されている内容は、2010年10月現在のものです。また、内容は改善のため予告なく変更することがあります。